

石破自民党政調会長の発言糾弾！ 原発は、核武装のためにある？

原発は「抑止力」？——非核三原則を踏みにじる危険な思想

自民党の石破政調会長は、テレビの報道で原発は必要だとして、その理由を、日本が（核兵器を）「作ろうと思えばいつでも作れる」様にしておくべき、「これはひとつの抑止力」「これを放棄するべきではない」と説明しました。原発は核武装のためにある、だから原発をやめるといふ考えはダメだと言っているわけです。

この発言は、やっぱりそうだったのかという感じがしますが、日本の核武装の意図からも原発が押し進められてきたということを明かしたものです。そのようなことは、非核三原則の精神をまったくないがしろにするものであり、ヒロシマ・ナガサキの被爆経験を持つ国民として、絶対に許されることではないと考えます。



「日本以外のすべての国は原子力政策は核政策とセットになっている」「作ろうと思えばいつでも作れる…これはひとつの抑止力」

だったらなおさら原発はさよならだ！

原発が、原子力の「平和利用」などと宣伝されてきましたが、それがまったくのウソだったこととなります。原発が「抑止力だ」というこのような考えに従えば、原発は原子力の軍事的利用ということになります。そうであるなら、わたしたちは、反基地・反核平和を願う立場からも、原発はすぐに廃止されるべきだと訴えます。また、憲法の平和主義の観点からも国民的な脱原発が必要なのだと考えます。

実際には石破氏の論理は破綻

石破氏によれば、ロシア・中国・北朝鮮と周辺国が核保有国で危険だからというのが、原発による核抑止力を保持すべきだということの理由です。しかし、そういった論理に乗ったとしても、日本中に原発を建設してしまえば、原発を通常兵器で攻撃されただけで、日本が核攻撃されたも同然でそれこそ大変危険なことなどではないのでしょうか？また、核武装の意図を持って原子力政策を進めるのなら、核不拡散条約からの脱退が必要であり、国際社会から孤立していくことになります。これもまた大変危険なことです。実際には石破氏の論理は完全に破綻しているわけです。こんな危険な考え方に抗議の声を上げましょう！（2011.08.27）

学習会の案内

- ・トモダチ作戦と思いやり予算
 - ・キャンプ座間に中央即応集団司令部がやってくる
- 講師 半田滋氏（東京新聞編集委員）**

日時：9月4日（日） 15:00～17:00（14:30開場） 資料代：当日 500 円 学生：300 円

会場：南口倶楽部ホール 2F（相武台前駅南口から徒歩1分 八千代銀行隣 升屋酒店 2 階）

主催：キャンプ座間への米陸軍第 1 軍団の移駐を歓迎しない会

影響が広がり、深刻化している放射能汚染

コメからもセシウムが検出、食品の検査を徹底せよ！

放射能で汚染された牛肉が全国的に問題となりましたが、これは餌として与える稲わらが汚染されており、これが全国に流通した結果でした。茶葉や腐葉土なども汚染されたものが出荷されました。これから、収穫の時期を迎える米の汚染が心配されています。すでに、茨城県と千葉県の前場米の予備検査で、暫定基準値以下ですが、放射性セシウムが検出されました。食品の放射線量検査の徹底が必要です。

食品暫定基準の緩和に反対しよう！

政府や自治体は、食品の放射能汚染が判明しても、暫定基準値以下であれば「安全性に問題はない」として流通させています。ところがこの暫定基準値は、3月の原発事故後に緊急に定められたものであり、根拠もはっきりしません。諸外国と比べてみても、数倍から十数倍の緩い値となっています。内閣府の食品安全委員会は、この暫定基準をもっと緩和するとも受け取れる見解を出しています。反対の声をあげましょう。

食品の放射性物質の基準値比較

ベラルーシ（子供）	37 Bq/kg
ウクライナ（野菜）セシウム 137	40 Bq/kg
ベラルーシ（野菜）	100 Bq/kg
コーデックス（Sr90,Ru106,I131,U235 の合計）*	100Bq/kg
アメリカの法令基準	170 Bq/kg
これまでの日本の輸入品規制値	370 Bq/kg
日本の暫定基準値（野菜）セシウム 137	500 Bq/kg
日本の暫定基準値（野菜）ヨウ素 131	2000 Bq/kg

*)コーデックス：CODEX、FAOとWHO共同の合同食品規格委員会
(<http://kingo999.web.fc2.com/kizyun.html> より引用)

首都圏でも放射能汚染対策の要求を広げよう！

ホットスポットと呼ばれる、放射線量の高い地域が、福島原発を中心に広がり、首都圏にまで及んでいます。この結果、首都圏でも農作物が放射能で汚染されていたり、学校や公園などに高放射線量の場所が点在していたりして、その対策が必要になっています。先月末には、町田市の剪定枝（せんていし）資源化センターが生産する堆肥から、580Bq/kg（基準値は400Bq/kg）が検出されています。

首都圏各地の下水処理場では、脱水汚泥や焼却灰に雨水で流された表土などが濃縮し、高い放射線量が計測され、行き場のない状態が続いています。高線量が予測された地域では、住民が主体的に放射線量を測定し、その数値をもとに自治体に対策を要求する動きが広がっています。

検査体制の強化と放射能被害をできるだけ少なくする対策を要求していきましょう。

詳しい情報はこちらも参考にしてください。http://fukurou.txt-nifty.com/fukurou/blog_index.html

原発さよなら署名にご協力を！

脱原発への転換を速やかに決定すること！
自然エネルギーに転換すること！を求めます。



署名用紙が必要な方は、下記、ピース・ニュースのホームページでもダウンロードできます。是非、広めて下さい。署名の2次集約は、10月末に設定されています。